



LS Scholarship Fund. Japan

発行日 2022年1月28日

～ 世界の子供達に学ぶ機会を! 学ぶ喜びを! ～

No.10

認定 NPO 法人 LS スコラ育英基金

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-25-15

Tel & Fax : 03-3428-8307

E-mail : scola_japan@yahoo.co.jp HP : <http://scola.web.fc2.com/index.html/>

郵便振替番号:00100-0-767496 特定非営利活動法人 LS スコラ育英基金

〈新たな5年間のスタートとなる年に向けて〉

新しい年、2022年を迎えました。昨年は、三度にわたる緊急事態宣言が解除された9月30日以降新型コロナウイルスの新規感染者数が減少に向かったのも束の間、年末からは変異株の市中感染の新たな脅威が年をまたぐ形となり、まだまだ安心して日常生活をおくることが出来ない状況が続いております。引続き、治療や検査に携わっておられる多くの医療関係の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、私たちも知恵と先見性を持って、コロナ後の世界を見据えて行くことが重要かと思われまます。

さて、新年早々にLSスコラ育英基金に嬉しい知らせが届きました。認定NPO法人の有効期間が昨年12月25日をもって満了するのに伴い、有効期間の更新申請を7月7日に東京都に対して行っていましたが、ここでもコロナの影響により実地審査が遅れていました。ようやく12月9日に実地審査が実施され、1月20日に向こう5年間更新の通知が届きました。この間のご寄付や励ましのお言葉に対し、厚く御礼申し上げます。

実地審査にあたっては、この5年間「聖ラ・サールの精神」（「学びたくても学べない子供達を救おう」等）と「教育」を理念に掲げて、活動してきたことに加え、NPO法人としての組織的独立性に意を用いてきたことを説明いたしました。都の審査担当者からは、ラ・サール会支援プロジェクトについて、NPO法人として支援決定プロセスにおける自立性がどう担保されているのか、についての質問に多くの時間が割かれました。また、組織的独立性にとられるあまり、同窓会からの支援が受けにくくなっているのでは、との疑問が呈されました。これらの質問・疑問に対しては、当方からラ・サール会に対し、毎年年初に定款で定められた事業の目的及び事業の種類と予算規模を示して、それに合ったプロジェクトを推薦してもらい、そのリストの中から理事会・総会を経て、独自に決定していることを説明し、自立性が担保されていることの理解を得ることが出来ましたが、同窓会との関係については、引続き、時間をかけて良好な関係を作れるよう努力してまいりたいと考えております。さらに新たな5年間の課題としては、高齢化による寄付者数の減少傾向、全員70歳台の役員の後任問題、総会で投票権を有する社員の増強等が挙げられます。最近読んだ新聞記事によれば、寄付型のクラウドファンディングに強みを持つ「READYFOR」はコロナ禍でも寄付者数を伸ばしており、寄付者の65%が44歳以下で、何に対して寄付するかが明確で、用途の事後報告もあり、透明性が若い層に支持されていることようです。

現在、LSスコラ育英基金が年二回発行するこの“SCOLA”だけでは情報発信力に限界があることも事実ですが、活動の透明性の確保にお一層努めますとともに、あわせて、既にご寄付いただいている皆様方から新たな寄付者に対するお声がけ並びに皆様方が基金の運営に奮ってご参画いただきますよう、引続き、皆様方のご支援を是非ともよろしくお願い申し上げます。

(理事長 宇野哲人)

1. 2020年6月実施のコロナに係る緊急支援（SECOLI #3908）に対する報告のご紹介

1年前の広報誌（No.8）で、コロナに係る緊急支援としてベトナムとカンボジアのプロジェクト3件を支援したと報告しましたが、昨年末ラ・サール会 SECOLI 事務局を經由して現地のブラザー達から詳しいレポートが送られてきましたので、写真などを中心にご紹介します。

SECOLI 事務局からは「We are very appreciative of the support from NPO Scola Foundation for Lasallian education throughout the years. (長年にわたるラ・サール会の教育支援事業に対する NPO LS スコラ育英基金の支援に心から感謝しています)」というメッセージを頂いています。

- (1) 中学・高校・大学の高等教育をめざすタンフンチャリティスクール（小学校）出身の卒業生 57 人に対する学費の支援（ベトナム 4,243 ドル）
支援された 4,243 ドルを 79,000,000VND(ベトナム・ドン)に交換し、そのうちの 18,000,000VND を使って 3 名の学生を支援したとして送られてきた 3 名の写真です。



- (2) コロナで生活が困窮したポウテュム校の家族 100 名に対する食糧支援、生徒 40 名の学校での昼食支援（カンボジア 9,975 ドル）
米 20 kg、麺、砂糖 1 kg、料理用油、ささやかなプレゼントがその内容です。



- (3) コロナで生活が困窮したタンフンチャリティスクールの在校生等 142 名への食糧支援や衛生用品購入支援（ベトナム 3,950 ドル）



米 10 kg、砂糖、麺、醤油（魚醤）などとあります。

2. 令和3(2021)年度下期の事業について（中間報告）

前回の広報誌（No.9）でお知らせした令和3年度の事業については、ほぼ計画通りですが少し補足・修正を行いましたのでご報告いたします。

- (1) 育英資金の交付事業に係る「大学生給付奨学規程」の見直し

仙台の児童養護施設でこの春、大学や看護学校、専門学校に進学を希望する者が同規程と同じ内容の入学一時金や奨学金を受け取ることができるように、第6回理事会（令和3年10月19日開催）で規程の見直しを行いました。

- (2) 海外からの恵まれない留学生への支援事業並びに国際交流事業等への資金支援

今年2月を予定していた「ふじのくに留学生ツアー」ですが、新たにオミクロン株の感染拡大が懸念されることから、今年8月に延期となりました。

3. その他

ラ・サール本部のホームページにLS スコラ育英基金のロゴマークが「Our Partners」として登録されています。

[De La Salle Solidarietà Internazionale ONLUS: Our Partners \(lasallefoundation.org\)](https://lasallefoundation.org)



<https://lasallefoundation.org/our-partners/>

<ご寄付のご協力ありがとうございました>

2021年度（1月1日～12月31日）にご寄付いただいた方は以下の通りです。

ここに名前をご紹介します、感謝の意を表したいと思います。

（敬称略）

安立健明、穴澤龍治、伊井和枝、池田博行、池田隆二郎、池見清志、伊佐治寿彦、伊地知正光、糸仙二郎、伊東裕久、井上功、岩元修士、内田正隆、宇野哲人、浦田真吾、江口憲治、江畑浩之、大坂恒悦、大迫徳郎、大原信司、岡田利雄、小田紘史、小田原良治、海江田博士、鹿島康司、笠松秀樹、加藤英行、金蔵拓郎、金丸秀樹、金子賢一、賀本敏行、川井田浩、川上博人、川原光徳、神原芳彦、菊地裕太郎、北川朗、北本達也、木下敏之、工藤元哉、隈部敏郎、黒川明、黒木秀敏、倉津一壽、高栢智彰、古賀信行、小城和正、小林寛重、財津昭憲、齊野公志、酒井伸一郎、坂井毅、櫻井利雄、（匿名希望）、佐藤正吉、佐藤仁宣、佐藤秀樹、鮫島由規則、椎原晩聲、品田義雄、白土宏之、菅野剛造、鈴木正英、園田勝男、大尾俊博、大徳眞一、高木鉄平、高木学、高橋智、田上桂作、竹田和義、武田敏文、（匿名希望）、田中宏明、谷山忠利、谷山啓一、原浩、玉木康博、津田俊二、出口亨、寺田道雄、鳥越重二、徳盛誠、中江次郎、中川原讓、永田洋二、中西徹明、中西輝昭、中野伸也、中原善朗、中村勝洋、中村誠洋、中村知史、中村稔、成田昭浩、内藤英次、西立野研二、新田栄作、新田周作、新田荘作、根本浩一郎、蜂須賀一寿、馬場俊英、浜崎和朗、林完自、原口和貴、針間博彦、春本常雄、姫野信吉、平川憲生、深江方次、福岡一郎、福田博行、藤瀬裕司、藤津史朗、古川貴久、藤井晶衛、星原誠吾、堀切尚、牧本三夫、益田孝志、松井謙明、松岡英亮、松崎潤一、松下洋一郎、松島誠也、松田孝、三浦聡雄、水間信寿、道岡伸一郎、満岡涉、宮下幸一朗、村上洋一郎、村野一郎、元木昭秀、本寺大志、本山嘉正、森荘太郎、森俊雅、矢野讓、山下達治、山村延郎、山元正博、吉井満寛、吉田昌之、吉永和久、米澤大、六反田喬、和田豊郁

（以上 150 名）



－ 事務局からのお知らせ －

- ・ 認定 NPO 法人としての更新審査が無事終了し、今年度は次の5年間に向けた新しいスタートの年となります。事務局としてはより多くの方に LS スコラ育英基金の活動をご理解頂き、積極的にご参加頂けるような広報活動を行っていきたくと考えております。
- ・ 今回は寄付用の振り込み用紙を同封させていただきましたので、同期生などお知り合いの方にもお声がけ頂き、ご支援の輪が少しでも広がっていくことを願っております。また、NPO 法人の運営にご参加いただける方を募集しておりますので、こちらもよろしくご検討ください。
- ・ 年末調整用に「寄附金受領証明書」をお送りしていますが、届いていない方はメールまたは電話で当基金事務局までご連絡ください。また、住所変更が発生した場合もご連絡をお願いします。
（理事・事務局長 黒木秀敏）

SCOLA 第 10 号をお届けします。ご感想、ご意見、ご希望などお寄せいただければ幸いです。

編集・印刷 事務局 紺野晃則 E-mail: scola_japan@yahoo.co.jp